

# パパ・ママ子育て知恵袋

## 第34回は「思い通りにならない」を学習する

思い通りにならないと、子供はいじけたり、すねたり、切れたりしますね。このとき、大人が「いいよ、いいよ、じゃああなたの言う通りにしてあげる」と言ってしまうと、子供はろくな人間になりません。

思い通りにならないことに直面したときは、「世の中には思い通りにならないことがいっぱいあるんだ」ということを学習できるチャンスです。

- くそ～～！ どうしたら思い通りになるか、別の手を考えてやる！
- 仕方がない。あきらめよう。
- 別の楽しいことを考えよう。
- そもそもワタシの望んでいることが、単なるわがままだったかも。
- 半分は願いがかなったから、この辺で手を打つか等々……。

大人になってわかったことは、人生の大半は思い通りにいかないということです。大人は、いじけたり、すねたり、切れたりしても、どうにもならないことがいっぱいあるということを知っています。

世の中には理不尽とか不合理というものがあると知っています。

思い通りにならないことを体験して、学んだからです。

だから人に優しくなれるのです。

子供が思い通りにならずに、いじけたり、すねたり、切れたりしていたら、「君は今、とても大切なことを勉強しているんだよ」と言ってあげる。

そして、放っておく。大丈夫です。

### 〈おまけ〉

スーパーマーケットのお菓子売り場で「買って！買って！」と駄々<sup>ただ</sup>をこねている子供とテコでも言うことを聞かぬという顔のママを見かけました。子供の駄々はかなり強力です。それを見ていたご老人が「ううむ、久しぶりに立派な駄々を見たなあ」と心から感心している独り言。

「こんなふうに考えられたら、子育ては少し楽になるかなあ」と思いました。

とうとうあきらめた子供。ゴング！ ウィナー、ママ。